

プレスリリース

2025 年 6 月 26 日

スチュワードシップを通じた価値向上への取り組み  
**2024年は2,883社とのエンゲージメント**

アムンディ・ジャパン株式会社

欧州を代表する資産運用会社<sup>1</sup>であるアムンディは、2025 年 6 月 20 日、2024 年のスチュワードシップ活動の進捗状況を示す「エンゲージメント・レポート 2024」を発行しました。

スチュワードシップは、アムンディにおける責任投資に対する考えの中核にあり、企業との積極的なエンゲージメント、ならびに、一貫性と透明性がある議決権行使で構成されます。徹底したアプローチは、ShareAction<sup>2</sup>の「[Voting Matters](#)」レポートで長年にわたり上位にランクインするなど、外部のステークホルダーからも認められており、アムンディは世界の大手資産運用会社の中でスチュワードシップのリーダーのひとりとして位置付けられています。こうした評価は、スチュワードシップで高い基準の維持に努め、サステナブル投資実践の先駆けとしての役割を強めるアムンディの姿勢を示すものです。

アムンディにおいてエンゲージメントとは、顧客ポートフォリオで長期的に価値創造を追求する一環であり、投資先企業に経済的資本を持続させるための意思決定や行動を促すことを目的としています。結果を重視するエンゲージメントはグローバルな ESG プロセスに統合されています。

アムンディはエンゲージメントに関して明確な目標を掲げています<sup>3</sup>。気候変動戦略について 2021 年比で新たに 1,000 の発行体とエンゲージメントを実施することを目標とし、これを 1 年前倒しで達成いたしました。

アムンディの 2024 年におけるエンゲージメントのハイライト：

- 2,883 の発行体とエンゲージメントを実施（2023 年比+10%）
- 全ての主要なテーマで活発にエンゲージメントを実施：
  - ✓ 低炭素経済への移行、1691 先（+15%）
  - ✓ 自然資本の保全、759 先（2023 年比で+23%）
  - ✓ 持続可能な開発のためのガバナンス、1535 先（2023 年比で安定的に推移）
- 特にアジア先進国（+40%）、新興国市場（+10%）、北米（+28%）で増加

<sup>1</sup> 欧州に本部を持つ資産運用会社のグローバルな受託資産の比較で第一位。出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ 500 社（2024 年 6 月版、2023 年 12 月末の運用資産額）に基づく

<sup>2</sup> 責任投資を推進する英国の非営利慈善団体

<sup>3</sup> 2022 年に発表した 2025 年までの目標を定めた Ambition2025

- **2024 年中に終了したエンゲージメントのうち 45%でポジティブな結果：**エンゲージメントの進捗管理のために社内で設定したマイルストーンに照らし、発行体が KPI をほぼ達成またはタイムリーに達成する見込みがある場合にその結果をポジティブと捉えます。

#### **2024 年の議決権行使結果：**

- **10,515 件の年次総会**に参加
- 株主提案への賛成率
  - **気候変動に関連する議案 82%**
  - **社会課題に関連する議案 81%**
- 反対率は 26%

**機関投資家・法人顧客部門および ESG のヘッドであるジャンジャック・バルベリスは次のように述べています：**

「2024 年にアムンディは全地域で多様なテーマへの取り組みを強化しました。特に気候問題に関しては、まず影響の大きいセクターとエンゲージメントを行い、その後、時間をかけつつ、すべてのセクターとの対話を増やしていくことを目指しています。気候問題と無縁なビジネスモデルはありません。2025 年においても、特定したサステナビリティに関するリスクや環境・社会に対する影響をどのように管理すべきかについて発行体とのエンゲージメントを継続します。これは、お客さまのポートフォリオにおいて価値創造を続ける一環であり、長期的に経済的資本を成長させる上で極めて重要であると考えています。」

#### **エンゲージメント・レポート 2024（英語版）**

[はこちらからご覧ください](#)

#### **本件に関するお問合せ先**

アムンディ・ジャパン株式会社 CEO オフィス 広報

e-mail：[amundi\\_Japan\\_PR@amundi.com](mailto:amundi_Japan_PR@amundi.com)

直通： 050-4561-2565

公式ウェブサイト：[amundi.co.jp](https://amundi.co.jp)

## アムンディについて

アムンディは、欧州を代表する資産運用会社であり、世界トップ 10<sup>4</sup>にランクインしています。世界で 1 億を超える、個人投資家、機関投資家および事業法人のお客さまに、伝統的資産や実物資産のアクティブおよびパッシブ運用による幅広い種類の資産運用ソリューションを提供し、金融バリューチェーン全体をカバーする IT ツールでサービスの強化を図っています。クレディ・アグリコル・グループ傘下で、ユーロネクスト・パリ市場に上場するアムンディは、現在、約 360 兆円<sup>5</sup>の資産を運用しています。

世界 6 つの運用拠点<sup>6</sup>、財務・非財務のリサーチ能力および責任投資への長年の取り組みにより、アムンディは資産運用業界の中心的存在です。

アムンディは、35 カ国を超える国と地域で約 5,700 人<sup>5</sup>の従業員の専門知識と助言をお客さまに提供しています。

### アムンディ 信頼されるパートナー 日々、お客さまと社会のために

本資料は、アムンディ・アセットマネジメントが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料をアムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。本資料は法令に基づく開示資料ではありません。本資料中に記載したアムンディ・アセットマネジメントの見通し、予想、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

[4612081]



商号等：アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 350 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<sup>4</sup> 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ 500 社（2024 年 6 月版、2023 年 12 月末の運用資産額）に基づく

<sup>5</sup> 2025 年 3 月末現在。運用資産額は約 2 兆 2,470 億ユーロ、1 ユーロ＝162.08 円で換算

<sup>6</sup> 主要な運用拠点：パリ、ロンドン、ダブリン、ミラノ、東京およびサンアントニオ（ビクトリー・キャピタルとの戦略的パートナーシップを通じて）